BLUEDOT®

10.2インチワイドTFTモニター
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1020

取扱説明書

BLUEDOT株式会社

はじめに

このたびは、弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
はじめに、この説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特徴

1.高解像度で美しい映像と音楽

本機はMPEG2コーディングフォーマットを採用し、500本以上の水平解像度を実現しています。
また、10.2インチワイドTFTカラーLCD、充電バッテリーパック、ヘッドホン出力、外部出力などにより、きれいな映像と美しい音楽を楽しむことができます。

2.マルチ電源対応

家庭用ACアダプター、充電バッテリーパック、カーバッテリーアダプターを付属。
家庭でも、外出先でも、また車の中でもDVDやCDを楽しむことができます。

3.多機能

早送り、早戻し、スロー再生、リピート再生、プログラム再生、シャッフル再生や、OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）言語の切り換えなどに対応しています。

4.ズーム

映像をオリジナルサイズの2倍、3倍、4倍に拡大することができます。
また逆に、オリジナルサイズの 1/2、1/3、1/4 に縮小することもできます。

5.タイムサーチ

ディスクの特定部分を探すことができるので、アクション映画を楽しむときなどに便利です。

6.オーディオ出力

アナログオーディオ出力やデジタルオーディオ出力でアンプに接続することができるので、高品質のサウンド効果を楽しむことができます。また、5.1チャンネルデジタルアンプに接続すれば、迫力ある5.1チャンネルサラウンドをお楽しみいただくことができます。

7.MP3、JPEGファイルの再生

ファイルサイズが小さく、高音質も可能なMP3形式の音楽ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われているJPEG形式の画像を再生することができます。

8.DivX（ディビックス）対応

DivXとは、MPEG4をベースとした動画圧縮・伸張形式の一種で、映像データのファイル容量を小さくし、かつ画質の劣化を少なくすることができる圧縮技術です。
本機では、DivXでエンコード（圧縮）されたファイルを再生することができます。
※バージョンによっては再生できない場合があります。

9.メモリーカードスロット、USB端子装備

メモリーカード（SDメモリーカード、MMC、メモリースティック）スロットとUSB端子を備えており、デジタルカメラの画像などを簡単に再生することができます。

10.180°回転できるディスプレイ

ディスプレイ部を180°回転させて、コンパクトに折り畳んだまま映像を楽しむことができます。
また、その状態で再生、一時停止、停止、スキップなどの基本的な操作を行うこともできます。

もくじ

付属品

本機には下記の付属品が、添付されています。
すべての付属品があるか点検してください。

- ・オーディオ・ビデオコード　1
- ・リモコン　1
- ・ACアダプター　1
- ・充電バッテリーパック　1
- ・カーバッテリーアダプター　1
- ・取扱説明書　1
- ・保証書　1

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
DVD	DVDの機能
CD	CDの機能

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	△記号は、注意 をしなければならない内容を表しています。
	⊘記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

⚠ 警告

プラグを抜く

異常な状態が見つかったら

万一、煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常が見つかった場合には、すぐに本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その上で弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですのでおやめください。

注意

付属のACアダプターは日本国内専用です。

外国での使用で故障した場合は、保証対象外となります。

禁止

付属のACアダプターはAC 100 V〜240 V、50/60 Hz以外の電源で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

付属のカーアダプターはDC 12 V以外の電圧で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

ACアダプターは必ず付属品を使う。

付属品以外のものを使用すると、火災の原因となります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

禁止

電源コードは破損しないようにする。

・上に重いものを載せない。
・ステープルなどでとめない。
・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたりしない。

火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

ケース内部を絶対に開けない。
本体やACアダプターのケースは、はずさないでください。
火災や感電の原因となります。

雷がなり始めたら
ACアダプターには触れないでください。感電の危険があります。

内部に物や水などを入れない。
本体やACアダプターの開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

下記の場所に置かない。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 風呂場など湿気やほこりの多い場所。
- 窓を閉めきった自動車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。

落下して破損したり、熱による破損、火災、感電の原因となります。

水などの入った容器の近くに置かない。
本体やACアダプターの近くに花瓶、植木鉢、コップ、その他水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたりして、火災や感電の原因となります。

落下した機器は使わない。
落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

布や布団でおおわない。
本体やACアダプターを、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。

車や自転車、オートバイなどの運転中は絶対にヘッドホンを使用しない。
重大な事故の原因となります。

車や自転車、オートバイなどの運転者は絶対に映像や画像の視聴をしない。
重大な事故の原因となります。

改造や、指定の技術者以外の人が修理をしない。
破損や火災、事故の原因となります。
また、メーカーで責任を負うことができず、保証対象外となります。

レーザー光線をのぞかない
本機はレーザーダイオードを使用しています。ケース本体を開けたり、取扱説明書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないようにしてください。

⚠ 注意

プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、バッテリーパックを取り外してください。

禁止

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない。

電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプター、カーアダプターなどを外してから移動してください。
けがや火災、感電の原因となります。

電池は極性(+と−の向き)に注意して正しく入れる。

間違えると火災や破損、液漏れの原因となります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。

火災や破損、液漏れの原因となります。

充電池は指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。

禁止

電池を加熱、分解したり、火の中に入れない。

破損や破裂をして、けがや火災の原因となります。

禁止

機器の上に乗らない。

お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。破損やけがの原因となります。

音量に気をつける。

電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

ヘッドホンをご使用になるときは

音量(ボリューム)を最小にしてからプラグを抜き差ししてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。

お手入れは必ずACアダプターを外して行う。

破損や感電の原因となります。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
ディスクに紙やテープを貼らないでください。

ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
再生後はディスクケースに保管してください。

ディスクの掃除

再生前に、きれいな布でディスクの中心から放射状に拭いてください。

結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズに結露し、故障や再生不良を起こします。この場合、ディスクを取り外し、本機を約1時間オンにし、湿気を蒸発させせます。

音のエチケット

楽しい音楽や、映画の音も、場合よっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

用語の説明

タイトル

DVDの映像または音楽は幾つかのユニットに分かれており、その中で最大のユニットをタイトルといいます。
DVDソフトによっては、タイトルが1つのみのディスクもあります。

チャプター

タイトルは数個のチャプターからなり、各チャプターにはチャプター番号が付いています。
DVDソフトによっては、チャプター番号が付いていないディスクもあります。

トラック

CDではディスクは複数のトラック(曲)に分けられています。各トラックにはサーチ用のトラック番号が付いています。
CDソフトによっては、トラック 番号が付いていないディスクもあります。

DVDの構造

ディスク
タイトル 1 | タイトル 2 | タイトル 3 ---
タイトル
チャプター | チャプター | チャプター ---

CDの構造

CDDA

一般の音楽CDを他のデータCDなどと区別するためにCDDAといいます。

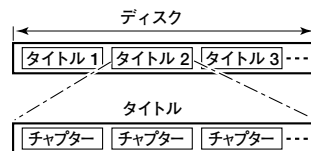
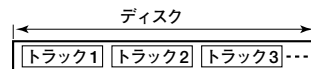
MP3

音声圧縮方式の一つで、音質の劣化が少なくデーターサイズを約1/10まで小さくすることができます。

JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの画像保存やインターネット用の画像として、最も広く使われているフォーマットです。

DivX(ディビックス)

MPEG4(動画圧縮・伸張方式の一つ)をベースとした動画圧縮・伸張方式の一種で、映像データのファイル容量を小さくし、かつ画質の劣化を少なくすることができます。

本機で再生できるディスク

下の表のディスクが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ	再生時間
DVDビデオ	DVD		オーディオ+ビデオ (動画)	12cm	約2時間(片面ディスク)
					約4時間(両面ディスク)
				8cm	約80分(片面ディスク)
					約160分(両面ディスク)
CDDA	オーディオCD		オーディオ	12cm	約74分
				8cm	約20分
VCD (SVCD)	ビデオCD (スーパービデオCD)		オーディオ+ビデオ	12cm	約74分(SVCD約40分)
				8cm	約20分
MP3	データDVD/データCD/メモリーカード/USBメモリー		オーディオ		
JPEG	データDVD/データCD/メモリーカード/USBメモリー		静止画		
DivX	データDVD/データCD/メモリーカード/USBメモリー		オーディオ+ビデオ		

◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、およびCD-R/RWを再生をすることができます。
ただし再生できる規格であっても、記録された機器や、パソコンのソフト、ディスクのメーカーなどによっては再生できない場合もあります。

次のディスクは本機では再生できません

※ DVDオーディオ、SACD、DVD-RAMなど非対応のディスク。
※ デジタル放送のテレビ番組を録画したディスク(CPRM対応ディスク)。
※ 録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

使用できるメモリーカード

※ 使用できるメモリーカードはSDメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)、メモリースティックです。
※ メモリーカードの製造メーカーや、容量、記録の状態によっては使用できない場合があります。

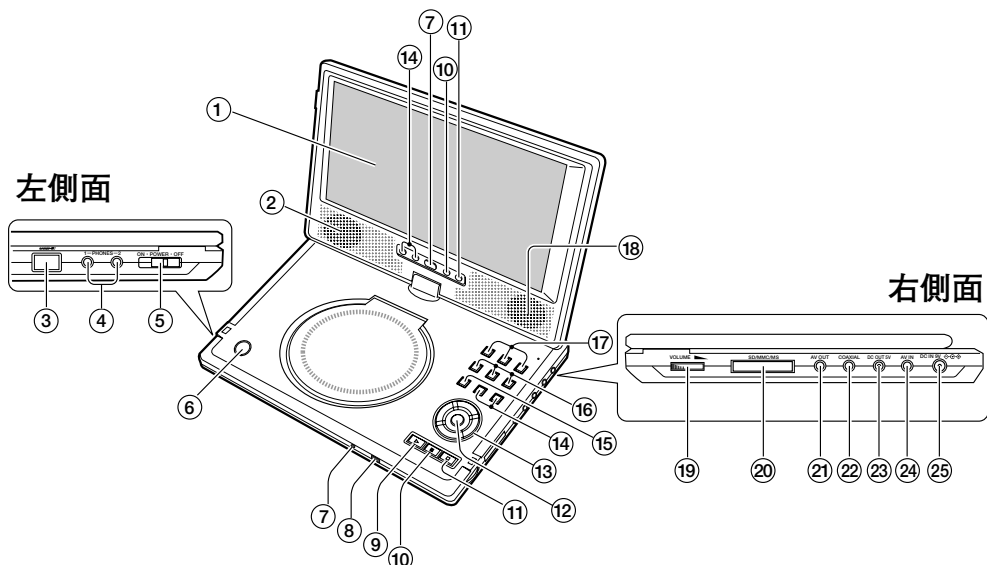
本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVDビデオソフト及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。市販のDVDソフトは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。
日本国内のリージョンコードは “2” です。
本機のリージョンコードも “2” に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

各部の名前

本体

① TFTカラー LCD 画面表示部

② 左スピーカー

③ ***USB**端子

④ **PHONE**（ヘッドホン）端子
ヘッドホンを接続すると本機のスピーカーからは音がでなくなります。
ヘッドホンを抜き挿しするときは、電源をオフにしてから抜き挿ししてください。

⑤ **POWER**（電源）**ON/OFF** スイッチ

⑥ **⏏/OPEN** ボタン

⑦ **POWER ON**（電源）/**CHG**（充電）表示

⑧ リモコン受光部

⑨ **PLAY**（再生）ボタン

⑩ **PAUSE**（一時停止）ボタン

⑪ **STOP**（停止）ボタン

⑫ **ENTER**（確定）ボタン

⑬ 上/下/左/右方向ボタン

⑭ **⏮/⏭**（スキップ）ボタン

⑮ **MENU** ボタン

⑯ **TOP MENU** ボタン
◀◀/▶▶（サーチ）ボタン

⑰ ***SOURCE** ボタン
MONITOR ボタン
USB/CARD ボタン

⑱ 右スピーカー

⑲ **VOLUME**（音量）調節ツマミ

⑳ メモリーカード挿入口

㉑ **AV OUT**（AV出力）端子

㉒ **COAXIAL** 出力端子

㉓ **DC OUT 5V** 端子

㉔ **AV IN**（AV入力）端子

㉕ **DC IN 9V** 端子

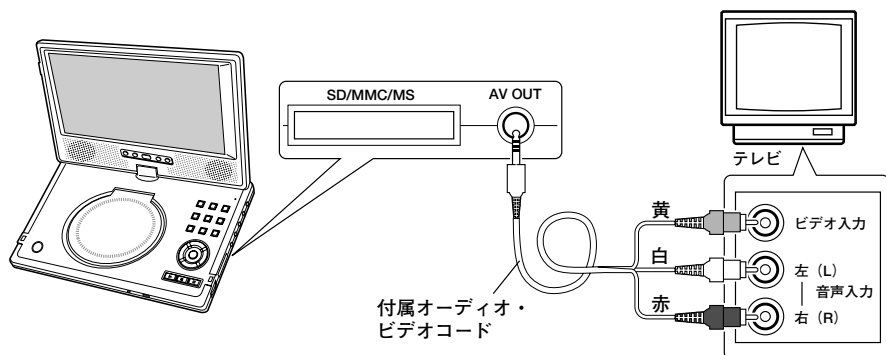
* 本機が装備しているUSB端子は、USB1.1対応です。
* **SOURCE** ボタンは、DVD再生とAV出力（**A/V OUT**）、およびAV入力（**A/V IN**）を切り換えます。
詳しくは42ページを参照してください。

リモコン

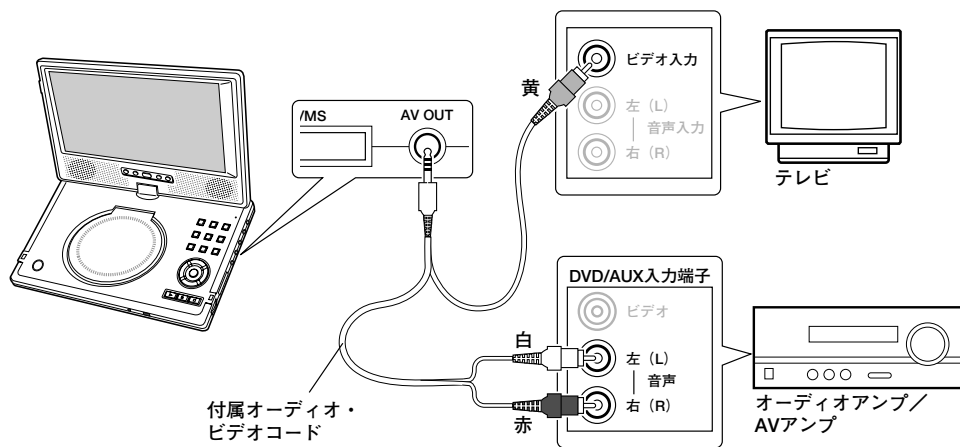
① **OSD**（オンスクリーンディスプレイ）ボタン
② **サブタイトル**（字幕）ボタン
③ **再生モード**ボタン
④ **オーディオモード**ボタン
⑤ **再開**ボタン
⑥ **ダイジェスト**ボタン
⑦ **トップメニュー**ボタン
⑧ **上/下/左/右方向**ボタン
⑨ **►（再生）**ボタン
⑩ **設定**ボタン
⑪ **スロー（低速再生）**ボタン
⑫ **❚❚（一時停止）**ボタン
⑬ **◄◄/►►（サーチ）**ボタン
⑭ **❙◄◄/►►❙（スキップ）**ボタン
⑮ **■（停止）**ボタン
⑯ **戻る**ボタン
⑰ **ズーム**ボタン
⑱ **A-B** リピートボタン
⑲ **リピート**ボタン
⑳ **メニュー**ボタン
㉑ **USB/カード** ボタン
㉒ **タイムサーチ**ボタン
㉓ **数字**ボタン
㉔ **言語**ボタン
㉕ **アングル**ボタン
㉖ **送信部**

外部機器と接続するとき

⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから接続してください。

テレビと接続する

◆ 付属オーディオ·ビデオコードのミニプラグを本機のAV OUT（アウト）端子に、白いピンプラグをテレビの左音声（オーディオ）入力端子に、赤いピンプラグをテレビの右音声（オーディオ）入力端子に、また黄色いピンプラグをテレビのビデオ（映像）入力端子に接続します。

＊ テレビで再生するときはSOURCE（ソース） ボタンをA/V OUTに切り換えて再生してください。（42ページ参照）

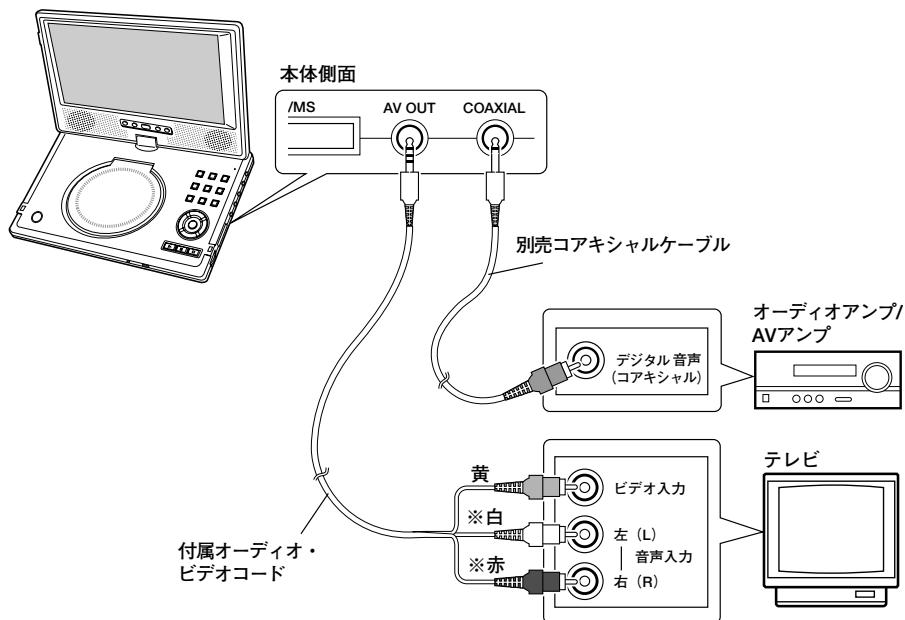
テレビとオーディオアンプを接続する

◆ オーディオアンプ、AVアンプと接続する場合、付属オーディオ·ビデオコードのミニプラグを本機のAV OUT（アウト）端子に、白いピンプラグをアンプの左音声（オーディオ）入力端子に、赤いピンプラグをアンプの右音声（オーディオ）入力端子に接続します。
付属オーディオ·ビデオコードの黄色いピンプラグをテレビのビデオ（映像）入力端子に接続します。

◆ アンプにコアキシャル入力端子がある場合、コアキシャルケーブルを接続することができます。（12ページ）

◆ アンプと他の機器との接続はアンプの説明書を参照してください。

＊ テレビで再生するときはSOURCE（ソース） ボタンをA/V OUTに切り換えて再生してください。（42ページ参照）

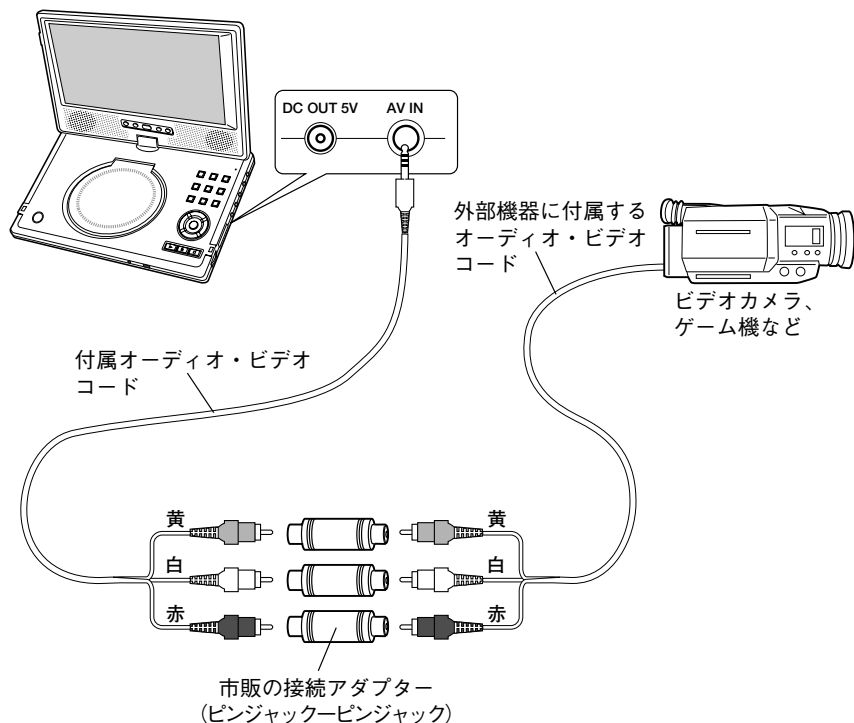
⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

コアキシャルデジタル音声接続をする

※ 白プラグ、赤プラグはテレビのスピーカーで音声を聴くことが多い場合のみ接続してください。
この接続をして、アンプの音声で聴く場合は、テレビの音声は「消音(ミュート)」にしてください。

◆ コアキシャルケーブルは片側ミニプラグの市販品をお使いください。

* 外部機器で再生するときはSOURCE(ソース) ボタンをA/V OUTに切り換えて再生してください。(42ページ参照)

⚠ **ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。**

外部の映像や音声を本機で再生する

◆ 付属オーディオ·ビデオコードのミニプラグを本機のAV IN(イン)端子に接続します。

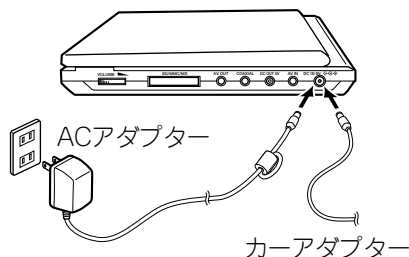
◆ 付属オーディオ·ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ·ビデオコードとを、市販の接続アダプターを使って接続します。

◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

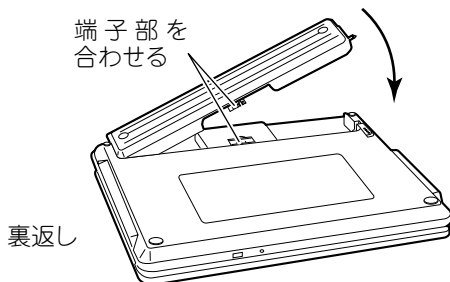
*** 外部機器を再生するときはSOURCE(ソース) ボタンをA/V INに切り換えて再生してください。(42ページ参照)**

電源の準備

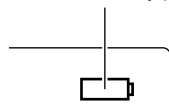
電源の接続

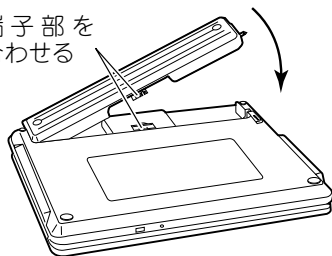
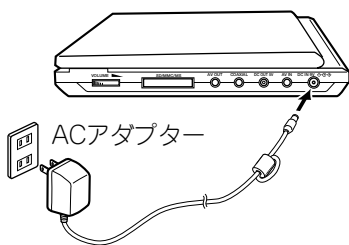
AC電源で使う、またはカー電源で使う

◆ 付属のACアダプターまたはカーバッテリーアダプターを本機の**DC IN 9V**端子に接続します。
◆ 付属のACアダプターは交流100V〜240Vに対応します。（保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。）
また、付属のカーバッテリーアダプターは12V車専用です。

● 指定の電圧以外では使わないでください。
● ACアダプターや、カーアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをOFF（オフ）にしてください。

充電バッテリーパックで使う

◆ はじめに本機の電源をオフにし、ACアダプターは取り外します。
本体を裏返しにして、バッテリーパックを本体に合わせ（図の左側）、右側をカチッと音がするまで軽く押し込みます。

ローバッテリー表示

◆ 充電池の残りが少なくなると、画面上にローバッテリー表示が出ます。
◆ 工場出荷時は付属のバッテリーパックは充電されていません。ご使用の前に15ページの手順にしたがって充電してください。
◆ バッテリーパックは、周囲温度5℃から35℃の範囲でご使用ください。
◆ フル充電したときの使用時間は、液晶画面を表示して約2.5時間、表示しないで約4時間です。

バッテリーパックを使わないときは取り外しておいてください。
バッテリーパックを取り外すときは必ず15ページの手順で取り外してください。
無理に引張って外すと破損する恐れがあります。

バッテリーパックを充電する

◆ はじめに本機の電源をオフにし、ACアダプターは取り外します。

① 本体を裏返しにして、バッテリーパックを本体に合わせ（図の左側）、右側をカチッと音がするまで軽く押し込みます。

② ACアダプターのDCコード側を本体の **DC IN 9V** 端子に接続し、プラグ側をコンセントに差し込みます。

◆ 充電が開始して、**CHG/POWER ON**（チャージ/パワー オン）表示がオレンジ色に点灯します。

◆ 約4.5時間でフル充電になり、表示が消灯します。

◆ 充放電は約500回までできます。

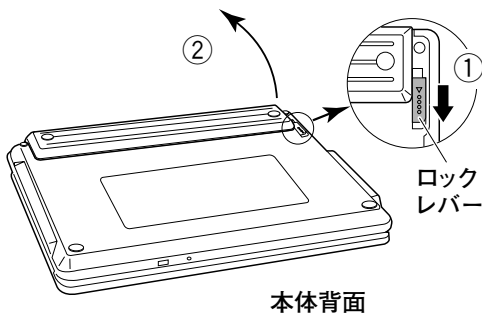
1. 充電中「POWER ON/CHG」（パワー オン/チャージ）表示が点灯している間はACアダプターを外さないでください。充電時間は約4.5時間です。充電時間は外部環境で変わります。

2. 充電中や再生中は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの取り外しかた

バッテリーパックが取り付けられているときは、本体にロックされています。
必ず下記のようにロックレバーを解除して、バッテリーパックを取り外してください。

① **DC IN 9V** 端子からプラグを抜き、底面を上にして、ロックレバーを矢印の方向へスライドさせます。

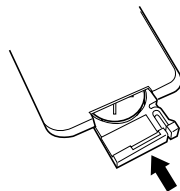
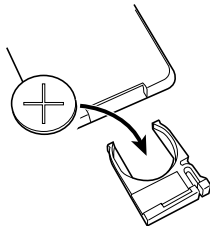
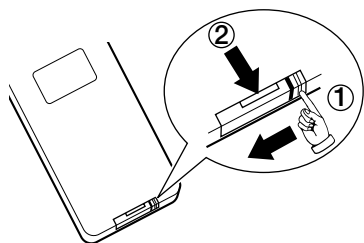
② ロックレバーをスライドさせたまま、バッテリーパックを矢印の方向へ取り外します。

リモコンの使いかた

電池を入れる

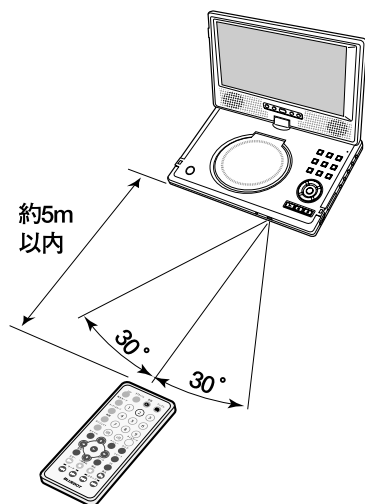
工場出荷時は電池がすでにセットされていますが、電池が放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用の前に保護シートを丁寧に引き出してください。
電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

1. 電池ホルダーを外す

2. 電池を入れる

3. 元に戻す

①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 **CR2025**」をご使用ください。

リモコンの操作範囲

◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は新しい電池と交換してください。電池寿命は約1年です。
◆ リモコンを長期間使用しない場合は電池を取り外しておいてください。

リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

この説明書ではリモコンを中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする CD DVD

1. 電源の準備をする。

14 ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。

あらかじめ VOLUME（ボリューム）ツマミを最小にしておきます。

3. カバーを開ける。

4. OPEN（オープン）ボタンを押しディスクトレイカバーを開ける。

5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッとおさまるようにセットします。

6. ディスクトレイカバーを閉める。

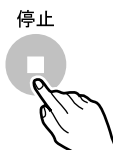
ディスクトレイカバーの左前面（PUSH（プッシュ））を押し、カチッとロックするまで閉めます。

再生を始める CD DVD

再生（▶）ボタンを押す。

◆ DVDのディスクによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってください。（24ページ）

停止する CD DVD

停止（■）ボタンを押す。

◆ 停止後、**再生**（▶）ボタンを押すと、停止した場所から再生を開始します。
◆ 完全に停止する場合は**停止**（■）ボタンを2回押します。

一時停止する CD DVD
ステップ再生をする DVD

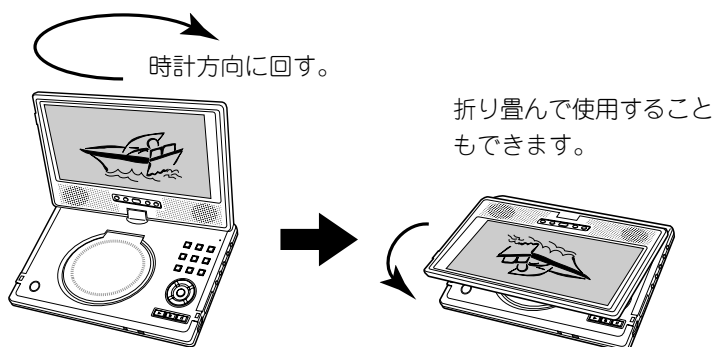
一時停止（❚❚）ボタンを押す。

◆ 再生中に**一時停止**（❚❚）ボタンを1回押すと一時停止します。
◆ DVD再生中は**一時停止**（❚❚）ボタンを押すごとにステップ再生（コマ送り再生）になります。
◆ 通常再生に戻る場合は**再生**（▶）ボタンを押します。

操作禁止マークについて

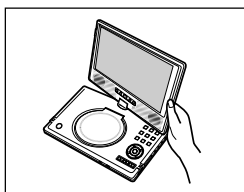
DVDではソフト制作者の意図により、場面によって操作が禁止されていることがあります。
その場合は右図のマークが表示されます。

ディスプレイを回転させる

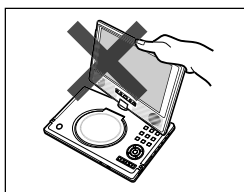
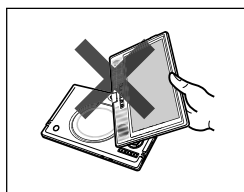
ディスプレイを180°回転させて折り畳んで使用することができます。

◆ ディスプレイ面のボタンでスキップ(⏮、⏭)(19ページ参照)、再生(▶)、一時停止(❚❚)、停止(■)の各操作ができます。

1. ディスプレイ部は時計方向に180°回転できます。逆方向に回そうとしたり、無理に回そうとしないでください。破損する恐れがあります。

2. 本機のディスプレイ部を回転させるとき、誤った方法で行うと本体に傷がついてしまう恐れがあります。下記の例に従って正しくご利用ください。

○ 良い例

液晶画面に直接手を触れないよう注意しながら、ディスプレイの下部をつかんで回転させます。
このとき、ディスプレイ部を少し持ち上げる感じで回転させると、本体を傷つけることなくスムーズに回転します。

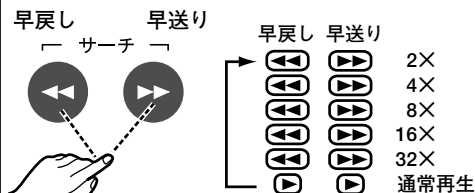
× 悪い例

ディスプレイの上部をつかんで回転させると、圧力により下部が本体と接触してしまい、本体に傷がつく恐れがあります。

ディスプレイ部を倒した状態で回転させると、下部が本体やボタンなどと接触してしまい、本体や液晶画面に傷がつく恐れがあります。

いろいろな再生をする

サーチ(高速再生) CD DVD

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

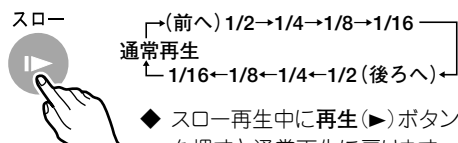
押すごとに再生速度が変わります。

◆ サーチ中に**再生**(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スロー再生(低速再生) DVD

ディスクを低速再生することができます。

スローボタンを押す。

押すごとに再生速度が変わります。

(前へ) 1/2→1/4→1/8→1/16
通常再生
1/16←1/8←1/4←1/2 (後ろへ)

◆ スロー再生中に**再生**(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ再生(飛び越し) CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(|◀◀/▶▶|)ボタンを押す。

▶▶| ボタンを押す

◆ 押すごとに次のトラック、またはチャプターに飛び越して再生を始めます。

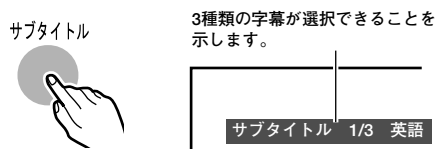
|◀◀ ボタンを押す

◆ 押すごとに前のトラック、または前のチャプターの出だしに戻り再生を始めます。

字幕(サブタイトル)を切り換える DVD

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

サブタイトルボタンを押す。

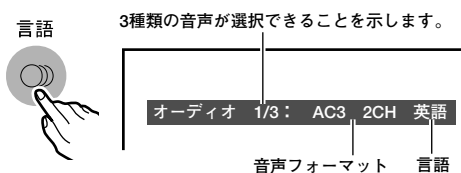
押すごとに字幕が切り換わります。

◆ 字幕を表示させたくないときは**非表示**を選択します。

◆ 字幕が記録されていないディスクでは、操作禁止マーク ⃠ が表示されます。

音声(言語)を切り換える DVD

ディスクに複数の音声が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

言語ボタンを押す。

押すごとに音声が切り換わります。

◆ 音声が1つしか記録されていないディスクでは、操作禁止マーク ⃠ が表示されます。

リピート再生(繰り返し) CD DVD

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

チャプター：再生中のチャプターを繰り返します。
タイトル　：再生中のタイトルを繰り返します。
トラック　：再生中のトラックを繰り返します。
すべて　　：ディスク全体を繰り返します。

リピートボタンを押す。

押すごとにリピートモードが切り換わります。

DVD 再生時

リピート

① チャプター
② タイトル
③ すべて
④ 通常再生

CD 再生時

リピート

① トラック
② すべて
③ 通常再生

◆ **リピート**ボタンを繰り返し押してリピート表示を消すと、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

ABリピート再生 CD DVD

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. 再生中、リピートを開始する場所でA-Bボタンを押す。

A-B

A

2. リピートを終了させる場所で、もう一度、A-Bボタンを押す。

A-B

AB

◆ 指定した区間を繰り返し再生します。
◆ **A-B** ボタンを繰り返し押して**AB**リピート表示を消すと、再生中の位置から通常再生に戻ります。

レジューム再生 CD DVD

再生を停止して電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. 停止(■)ボタンを1回押す。

停止

2. 電源を切る。

3. もう一度電源入れると、停止した位置から再生が始まります。

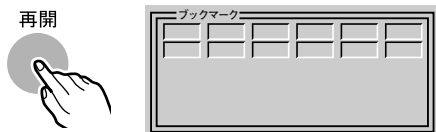
◆ ディスクを入れ換えると停止位置の記憶が解除されます。
◆ ディスクを完全に停止すると、停止位置の記憶が解除されます。
◆ MP3/MPEG4 (DivX)/JPEGなどのデータディスクでは機能しません。

ブックマーク再生 DVD

お好きなシーンでブックマークを付けておくと、いつでもその位置に移動することができます。
マークは12ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

1. 再生中に再開ボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. マークをしたいシーンになったら再生(►)ボタンを押す。

- ◆ 右方向ボタン(➡)を押してブックマークの枠を移動します。次にマークしたいシーンになったら、**再生**(►)ボタンを押します。同様にして、12ヶ所までマークを付けることができます。
- ◆ ブックマークの枠は、順番に関係なく方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)で好きな枠を選んで、マークを付けることができます。
- ◆ すでにマークされた枠を選んで**停止**(■)ボタンを押すとブックマークは消去されます。
- ◆ 電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、すべてのブックマークが解除されます。

ブックマークを使う

1. 再開ボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. 方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)を押し、再生したいブックマークを選ぶ。

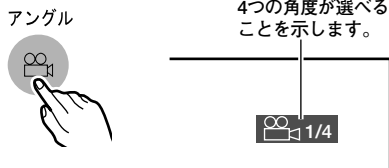
3. 再生(►)ボタンを押す。

ブックマークされた位置から再生が始まります。

アングルを切り換える DVD

ディスクに複数のアングルが記録されているときは、アングルボタンで切り換えることができます。

アングルボタンを押す。

アングルが選択できる画面のとき、**アングル**ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

- ◆ 通常はアングルマークが表示されているときのみ操作することができます。
- ◆ アングルが1つしか記録されていないディスクでは、操作禁止マーク⃠が表示されます。

ズーム再生 DVD

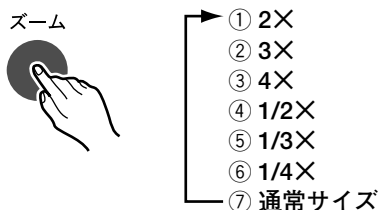
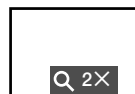
画像を拡大したり縮小したりすることができます。

ズームボタンを押す。

押すごとにズーム倍率が切り換わります。

① 2✕
② 3✕
③ 4✕
④ 1/2✕
⑤ 1/3✕
⑥ 1/4✕
⑦ 通常サイズ

表示例

2✕

- ◆ 拡大表示のとき、方向(⬆/⬇/⬅/➡)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。
- ◆ **ズーム**ボタンを繰り返し押してズーム表示を消すと、通常再生に戻ります。

プログラム再生 CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、好きな順にプログラムして再生することができます。
プログラムは20チャプター(トラック)まで登録することができます。

1. 再生モードボタンを押しプログラムを選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

① シャッフル
② ランダム
③プログラム
④ 通常再生

◆ 再生中、停止中のどちらでも操作できます。

2. 再生したいタイトルとチャプター(DVD)またはトラック(CD)を入力する。

DVD 再生時

プログラム：タイトル(13) チャンネル (2)

01	タイトル：13チャンネル：01	06	タイトル：--チャンネル：--
02	タイトル：--チャンネル：--	07	タイトル：--チャンネル：--
03	タイトル：--チャンネル：--	08	タイトル：--チャンネル：--
04	タイトル：--チャンネル：--	09	タイトル：--チャンネル：--
05	タイトル：--チャンネル：--	10	タイトル：--チャンネル：--

終了　開始　次へ

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が 01 にあることを確認して、タイトル、チャプター(チャンネル)の順に数字ボタンで入力します。

(例)
タイトル3、チャプター15を指定
→「3、+10、5」の順に押す。
タイトル23、チャプター20を指定
→「+10、+10、3、+10、10/0」の順に押す。

◆ カーソルが 02 に移動します。
◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
◆ カーソルの移動は方向ボタン(↑/↓/←/→)で行います。
◆ 10プログラム以上入力するときは[次へ]を選択し**再生**(►)ボタンを押します。

CD 再生時

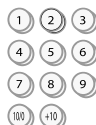
プログラム：トラック (01-16)

01	03	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--

終了　開始　次へ

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が 01 にあることを確認して、数字ボタンで入力します。

(例)
トラック3を指定
→「3」を押す。
トラック10を指定
→「10/0」を押す。
トラック25を指定
→「+10、+10、5」の順に押す。

◆ カーソルが 02 に移動します。
◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
◆ カーソルの移動は方向ボタン(↑/↓/←/→)で行います。
◆ 10プログラム以上入力するときは[次へ]を選択し**再生**(►)ボタンを押します。

3. [開始]にカーソルを移動し再生(►)ボタンを押す。

◆ プログラムした順に再生が始まります。
◆ **スキップ**(|◄◄/►►|)ボタンを押すとプログラムされた順にチャプター(トラック)を飛び越します。
◆ **サーチ**(◄◄/►►)ボタンを押すと早送り、早戻しができます。
◆ プログラム画面で「**停止**」を選ぶかディスクを完全に停止すると、すべてのプログラムが解除されます。

順不同に再生する CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、順不同に再生することができます。

シャッフル：全てのチャプター(トラック)を順不同に1回ずつ再生して停止します。
ランダム　：チャプター(トラック)を順不同に再生し続けます。同じチャプター(トラック)が連続して再生されることもあります。

1. 停止中または再生中に再生モードボタンを押す。

押すごとに次の様に切り換わります。

再生モード

→ ① シャッフル
② ランダム
③ プログラム
④ 通常再生

◆ 再生中にシャッフルまたはランダムを選んだ場合、再生中のチャプター(トラック)が終了したあと順不同に再生が始まります。

2. 停止中の場合、再生(►)ボタンを押す。

シャッフルまたはランダム再生が始まります。

DVDダイジェスト再生 DVD

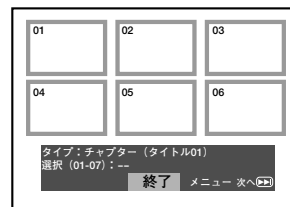
タイトルやチャプターの出だしや、約10分ごとに区切ったものを一覧表示させて、選んだ位置に移動することができます。

タイトルダイジェスト　：タイトルの出だしを一覧表示します。
チャプターダイジェスト：チャプターの出だしを一覧表示します。
タイトルインターバル：タイトルを約10分ごとに区切って一覧表示します。
チャプターインターバル：チャプターを約10分ごとに区切って一覧表示します。
ブックマークダイジェスト：ブックマークを一覧表示します。(ブックマークが設定されているときのみ表示)

1. 再生中にダイジェストボタンを押す。

ダイジェスト

ダイジェストタイプを選択
タイトルダイジェスト
チャプターダイジェスト
タイトルインターバル
チャプターインターバル
ブックマークダイジェスト

2. 上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選び、再生(►)ボタンを押す。

◆ 再生したい番号を数字ボタンで指定すると、その位置から再生が始まります。
◆ 方向ボタンで[メニュー]を選ぶと、ダイジェストタイプの選択画面に戻ります。
◆ [次へ]を選ぶと次の6画面が表示されます。
◆ [終了]を選ぶとダイジェスト再生を終了します。

CDダイジェスト再生 CD

CDの各トラックの出だしを約10秒ずつ次々と再生させて確認することができます。

ダイジェストボタンを押す。

トラック01/16
スキャン

- ◆ ダイジェスト再生中に**再生**(▶)ボタンまたは**ダイジェスト**ボタンを押すと、再生中のトラックから通常再生が始まります。
- ◆ ダイジェスト再生中は、サーチ(◀◀/▶▶)ボタンやスキップ(|◀◀/▶▶|)ボタンなどは機能しません。

数字ボタンで直接選択する CD

CDのトラックをリモコンの数字ボタンで直接選んで再生を始めることができます。

数字ボタンで好きなトラックを選ぶ。

(例)

トラック3を指定→「3」を押す。
トラック10を指定→「10/0」を押す。
トラック25を指定→ 「+10、+10、5」の順に押す。

- ◆ 選ばれたトラックから再生が始まります。
- ◆ 停止中でも再生中でも操作できます。
- ◆ ディスクに記録されているトラック数以上の数字は受け付けません。

オーディオモードの切換 CD DVD

音声の出力方法を切り換えることができます。

モノ(左)　：左の音声を出力します。
モノ(右)　：右の音声を出力します。
モノミックス：左右の音声をミックスして出力します。
ステレオ　：ステレオで出力します。

オーディオモードボタンを押す。

押すごとに次の様に切り換わります。

① モノ (左)
② モノ (右)
③ モノ ミックス
④ ステレオ

- ◆ 通常は「ステレオ」にしておきます。

DVDのメニュー再生 DVD

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次の様にしてメニューを操作することができます。

再生中、または停止中にメニューボタンを押す。

- ◆ メニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

方向ボタン(↑/↓/←/→)または数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

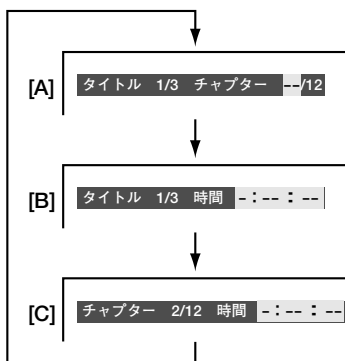
- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

タイムサーチ機能 CD DVD

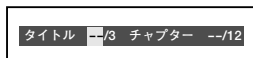
タイトルや、チャプター、トラック番号を直接入力したり、それぞれ時間を指定してお好きな位置から再生を始めることができます。

タイムサーチボタンを押す。

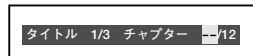
DVD 再生中

押すごとに次の様に切り換わります。

A ： タイトル、チャプター番号を選んで再生。

① **[A]**を選んで左方向ボタンでタイトル番号を反転させる。

タイトル --/3 チャプター --/12

② 数字ボタンでタイトル番号を入力する。

③ 右方向ボタンでチャプター番号を反転させる。

タイトル 1/3 チャプター --/12

④ 数字ボタンでチャプター番号を入力する。

◆ ディスクまたはシーンによっては、一部の操作が禁止されている場合があります。

B/C： タイトル、チャプターの時間を選んで再生。

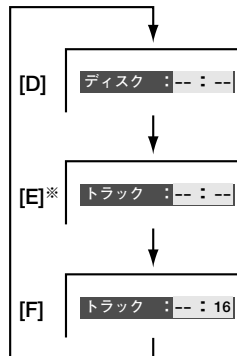
① **[B]**または**[C]**を選ぶ。

② 数字ボタンで時間を入力する。

（例）

5分25秒を指定→「10/0、10/0、5、2、5 」の順に押す。

CD 再生時

押すごとに次の様に切り換わります。

※Eは、CD再生中のときのみ表示されます。

D/E： ディスクまたはトラックの時間を選んで再生。

① **[D]**、または**[E]**を選ぶ。

② 数字ボタンで時間を入力する。

（例）

1時間5分25秒を指定→「1、10/0、5、2、5」の順に押す。

F：トラック番号を選んで再生。

① **[F]**を選ぶ。

② 数字ボタンで番号を入力する。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作

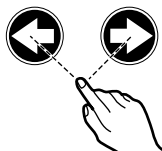
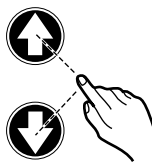
基本操作 CD DVD

画面上にいろいろな機能のアイコンを表示させ、リモコンで選んだり、操作することができます。
この画面上の表示をOSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)と言います。
OSDを使った操作は、ほとんど一定の操作方法で行えるので大変便利です。

1. OSDを表示させる。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. メニューを選ぶ。

リモコンの左右方向ボタン(◀/▶)で項目を選びます。画面で反転表示になっている部分が、選択された項目です。

3. リモコンの上下方向ボタン(▲/▼)で内容を選択する。

4. OSD画面を終了するときはOSDボタンを押す。

約10秒間操作がないとOSD画面は自動的に終了します。

OSD画面例

メニューアイコン

DVD再生時

- Title(タイトル) ：タイトルを選択します。
- Chapter(チャプター)：チャプターを選択します。
- Audio(オーディオ) ：音声(言語)を選択します。
- Subtitle(サブタイトル)：字幕を選択します。
- Angle(アングル) ：アングルを選択します。
- Repeat(リピート) ：リピートモードを選択します。

CD再生時

- Track(トラック) ：トラックを選択します。
- L/R ：オーディオモードを選択します。
- Audio ：CDでは機能しません。
- Repeat ：リピートモードを選択します。

◆ ディスクの制作者の意図により、機能が選択できない場合があります。その場合は操作禁止マーク ⃠ が表示されます。

◆ 操作する機能によって、使用するボタンが異なります。

タイトルを選ぶ DVD

OSDを使って、指定したタイトルへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

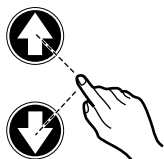
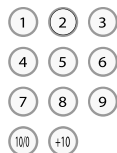
ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Title」を選ぶ。

（タイトル）

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でタイトルを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 +10

（例）
タイトル04を指定
→「4」を押す。
タイトル10を指定
→「10/0」を押す。
タイトル12を指定
→「+10、2」の順に押す。

◆ 選択したタイトルから再生が始まります。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。
◆ ディスクに記録されているタイトル数以上の数字は受け付けません。

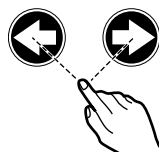
チャプターを選ぶ DVD

OSDを使って、指定したチャプターへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

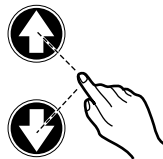
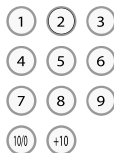
OSD

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Chapter」を選ぶ。

（チャプター）

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でチャプターを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 +10

（例）
チャプター04を指定
→「4」を押す。
チャプター10を指定
→「10/0」を押す。
チャプター12を指定
→「+10、2」の順に押す。

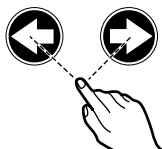
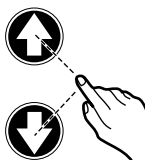
◆ 選択したチャプターから再生が始まります。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。
◆ ディスクに記録されているチャプター数以上の数字は受け付けません。

音声(言語)を選ぶ DVD

ディスクに複数の音声が記録されているときは、OSDを使って、音声フォーマットや言語を選択することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(⬅/➡)で「Audio(オーディオ)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(⬆/⬇)で音声フォーマットや言語を選ぶ。

◆ 選択した音声で再生されます。電源を切ったりディスクを完全に停止すると、初期設定に戻ります。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

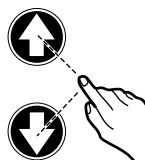
字幕(サブタイトル)を選ぶ DVD

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、OSDを使って、字幕を選択することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

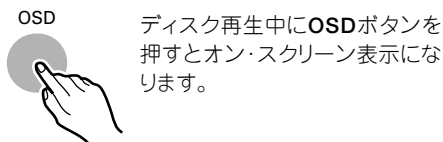
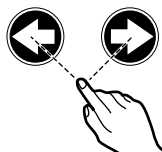
2. 左右方向ボタン(⬅/➡)で「Subtitle(サブタイトル)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(⬆/⬇)で字幕を選ぶ。

◆ 選択した字幕が表示されます。電源を切ったりディスクを完全に停止すると、初期設定に戻ります。
◆ 字幕を表示させたくないときは**非表示**を選択します。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

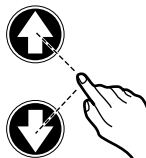
アングルを選ぶ DVD

ディスクに複数のアングルが記録されているときは、OSDを使って、アングルを選択することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン･スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Angle（アングル）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でアングルを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

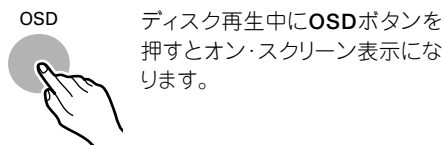
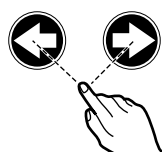
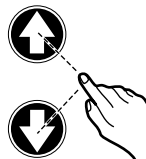
1 2 3
4 5 6
7 8 9
10/0 +10

（例）
アングル04を指定
→「4」を押す。

◆ 選択したアングルで再生が始まります。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

リピート再生（繰り返し） DVD

OSDを使って、ディスク全体や、タイトル、チャプターを繰り返し再生することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン･スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Repeat（リピート）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でリピートモードを選ぶ。

チャプター：再生中のチャプターを繰り返します。
タイトル：再生中のタイトルを繰り返します。
すべて：ディスク全体を繰り返します。
OFF：通常再生。

◆ 選択したリピートモードは、解除するまで機能し続けます。
◆ リピートを解除したいときは**OFF**を選ぶかディスクを停止します。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

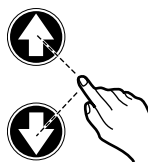
CDのトラックを選ぶ CD

OSDを使って、指定したトラックへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Track(トラック)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)でトラックを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

(例)
トラック04を指定
→「4」を押す。
トラック10を指定
→「10/0」を押す。
トラック12を指定
→「+10、2」の順に押す。

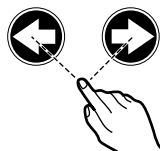
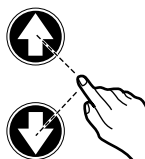
◆ 選択したトラックから再生が始まります。
◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

オーディオモードの切換 CD

OSDを使って、音声の出力方法を切り換えることができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「L/R」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)で出力方法を選ぶ。

モノ(左):左の音声を出力します。
モノ(右):右の音声を出力します。
モノミックス:左右の音声をミックスして出力します。
ステレオ:ステレオで出力します。

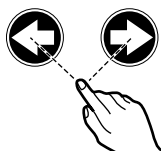
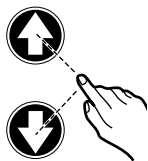
◆ 通常は「ステレオ」にしておきます。
◆ 選択した方法で出力されます。電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、初期設定に戻ります。
◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

CDのリピート再生 CD

OSDを使って、ディスク全体や、トラックを繰り返し再生することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Repeat(リピート)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)でリピートモードを選ぶ。

トラック:再生中のトラックを繰り返します。
すべて　:ディスク全体を繰り返します。
OFF　　:通常再生。

◆ 選択したリピートモードは、解除するまで機能し続けます。
◆ リピートを解除したいときは、**OFF**を選ぶかディスクを停止します。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの対応や音声出力方法など、様々な設定がされています。
これらの初期設定値を、お使いの接続機器などに合わせて変更することができます。
設定内容は次のようになっています。（　　　　で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。）

全般設定

TV表示

ノーマル/PS：
本機を通常のテレビに接続するときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされて表示されます。

ノーマル/LB：
本機を通常のテレビに接続するときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。

ワイド：
本機をワイドスクリーンテレビに接続するときに選択します。

TVタイプ

PAL：
ヨーロッパで採用されているテレビのタイプです。

マルチ：
PALとNTSCのテレビタイプに合わせて、自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。

NTSC：
日本国内（ほかにアメリカなど）のテレビタイプです。

OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）言語

英語と**日本語**が選べます。

SPDIF

OFF：
本機のデジタル出力端子から信号は出ません。

SPDIF/RAW：
本機のデジタル出力端子（COAXIAL）からドルビーデジタルおよびMPEGデコーダー内蔵のデジタルアンプに接続するときに選択します。

SPDIF/PCM
本機のデジタル出力端子（COAXIAL）から2チャンネルデジタルアンプに接続するときに選択します。ドルビーデジタルまたはMPEGフォーマットのディスクを再生した場合は2チャンネルPCMで出力されます。

全般設定

キャプション

クローズドキャプションの**ON**(表示)、**OFF**(非表示)を選びます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの**ON**または**OFF**を選択します。
スクリーンセーバーを**ON**にすると2〜3分間映像が停止するか、操作がなかった場合スクリーンセーバー画面になります。

オーディオの設定

スピーカ設定

ダウンミックス

Lt/Rt:マルチチャンネルトラックを左右のチャンネルに振り分けます。
ステレオ:マルチチャンネルトラックをステレオに振り分けます。

ドルビーデジタル設定

デュアル・モノ

ステレオ:ステレオで出力されます。
モノ(左):左右のチャンネルに左チャンネルの信号が出力されます。
モノ(右):左右のチャンネルに右チャンネルの信号が出力されます。
モノミックス: 5.1チャンネルディスクのときのみ機能して、各チャンネルをモノにミックスします。

ダイナミックレンジ(OFF)

ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を設定して、聞き易くする機能です。**OFF**が圧縮無しで、**FULL**がダイナミックレンジを最大限圧縮します。

チャンネルイコライザ

EQのタイプ

再生している音楽のジャンルや音質の好みに合わせて、8種類のパターンからイコライザのタイプを選択することができます。
イコライザのパターン: なし(フラット)、ロック、ポップ、ライブ、ダンス、テクノ、クラシック、ソフト。

3D処理

バーチャルサラウンド

バーチャルサラウンドの**ON**、**OFF**を選択します。

リバーブモード

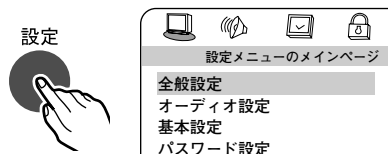
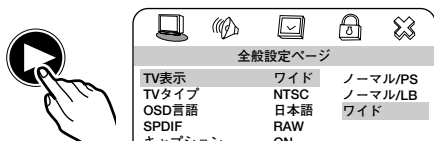
再生している音楽のジャンルや音質の好みに合わせて、8種類のパターンから残響音のタイプを選択することができます。
リバーブのタイプ: OFF、コンサート、リビングルーム、ホール、バスルーム、洞窟、アリーナ、教会。

※「基本設定」はディスクの停止中のみ操作できます。

<table>
<tr><td rowspan="8">基本設定</td><td colspan="2">オーディオ、サブタイトル、ディスク・メニュー</td></tr>
<tr><td></td><td>音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。
ディスクに記録された優先順位に関わらず基本設定の言語が優先されます。
(ディスクにその言語が記録されていない場合はディスクの言語で再生されます。)
設定可能言語:英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">親による管理</td></tr>
<tr><td></td><td>子供に見せたくないソフトなどのレベルを設定して、規定値よりも高いレベルのソフトを再生できないようにすることができます。
例えばレベル“3 PG”に設定すると、それ以上のレベルのソフトは再生されません。
設定レベルは“1 G”から“8 アダルト”までの範囲です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DivX(R) VOD</td></tr>
<tr><td></td><td>DRM CODE
このコードは、インターネットからダウンロードしたDRM(デジタル著作権管理)対応のDivX方式のビデオファイルを再生するときに利用します。
「YOUR REGISTRATION CODE IS:」の後の8ケタの英数字がDivX(R) VOD Registration Codeです。
詳しくは、http://www.divx.com/vod/を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">初期値</td></tr>
<tr><td></td><td>リセット
工場出荷時の設定に戻します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">パスワードの設定</td><td colspan="2">パスワードモード</td></tr>
<tr><td></td><td>ON:パスワードが有効になり、「親による管理」(視聴制限)は選択できない状態になります。
OFF:パスワードが無効になり、「親による管理」(視聴制限)が選択できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード</td></tr>
<tr><td></td><td>変更:パスワードを変更をするときに選択します。</td></tr>
</table>

全般設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 全般設定が選択されていることを確認して再生ボタンを押す。

3. 上下方向（⬆/⬇）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「TV表示」を選んでいます。

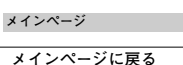
4. 上下方向（⬆/⬇）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「ワイド」を選んでいます。

5. 左方向（⬅）ボタンで前のメニューに戻る。

6. 下方向（⬇）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

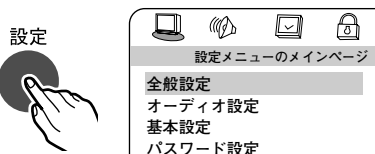
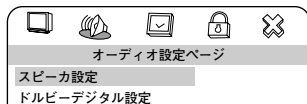
続けて設定するときは別の項目を選びます。

メインページ
メインページに戻る

7. 下方向（⬇）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

セットアップの終了
設定メニュー終了

設定画面が終了します。

オーディオの設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向（⬆/⬇）ボタンで「オーディオの設定」を選び、再生ボタンを押す。

3. 上下方向（⬆/⬇）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「スピーカ設定」を選んでいます。
もう一度サブメニュー画面が出ます。

4. 上下方向ボタンで項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

右側のメニューが選択されます。

5. 上下方向ボタンで項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

6. 左方向（⬅）ボタンで前のメニューに戻る。

7. 下方向（⬇）ボタンで「オーディオ設定」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

続けて設定するときは別の項目を選びます。

8. 下方向（⬇）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

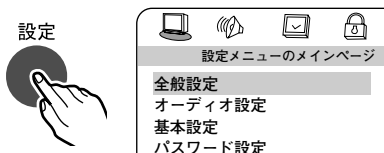
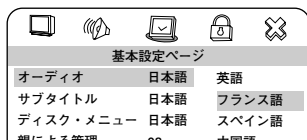
9. 下方向（⬇）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

設定画面が終了します。

基本設定を行う

1. ディスク停止中に設定ボタンを押す。

設定メニューのメインページ

全般設定
オーディオ設定
基本設定
パスワード設定

2. 上下方向（▲/▼）ボタンで「基本設定」を選び再生（▶）ボタンを押す。

3. 上下方向（▲/▼）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「オーディオ」を選んでいます。

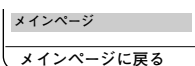
4. 上下方向（▲/▼）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「フランス語」を選んでいます。

5. 左方向（◀）ボタンで前のメニューに戻る。

6. 下方向（▼）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

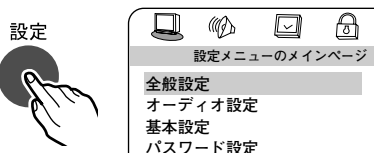
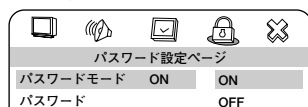
続けて設定するときは別の項目を選びます。

メインページ
メインページに戻る

7. 下方向（▼）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

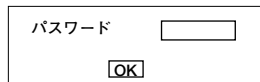
セットアップの終了
設定メニュー終了

設定画面が終了します。

パスワードモードの設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向（▲/▼）ボタンで「パスワードの設定」を選び再生（▶）ボタンを押す。

3. 「パスワードモード」を選び、再生（▶）ボタンを押す。

4. 上下方向（▲/▼）ボタンでONまたはOFFを選び、再生（▶）ボタンを押す。

前の設定を変更する場合パスワードが要求されます。

パスワード
OK

5. 数字ボタンでパスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

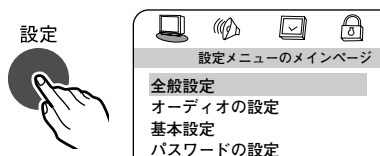
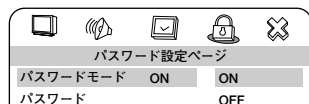
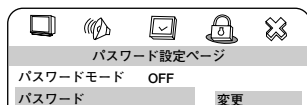
6. 再生（▶）ボタンを押す。

7. 下方向（▼）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

8. 下方向（▼）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

設定画面が終了します。

パスワードを変更する

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(▲/▼)ボタンで「パスワードの設定」を選び再生(►)ボタンを押す。

3. 「パスワード」を選び、再生(►)ボタンを押す。

4. 「変更」が選択されるので、再生(►)ボタンを押す。

5. 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

6. 新パスワードを入力します。

7. 新パスワードをもう一度入力し、再生(►)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

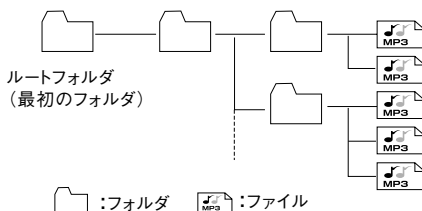
8. 下方向(▼)ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生(►)ボタンを押す。

9. 下方向(▼)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(►)ボタンを押す。

設定画面が終了します。

MP3/JPEG/DivX（ディビックス）ファイルを再生する

本機では、高圧縮で音質の劣化が少ないMP3ファイル、デジタルカメラなどで使われるJPEG画像、DivX動画を再生することができます。
再生するファイルには拡張子が「.mp3」(MP3ファイル)、「.jpg」(JPEGファイル)、「.avi」(DivXファイル)以外のデータを混ぜないでください。
「.avi」にはDivXファイル以外のものもありますのでご注意ください。
また、異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは絶対に避けてください。
大きな雑音が発生する恐れがあります。

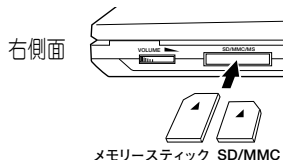
ファイル　：音楽CDのトラック(曲)の相当します。
フォルダ　：ファイルを収納しているフォルダです。
ファイルやフォルダは階層構造になっています。

準備

メディアをセットする

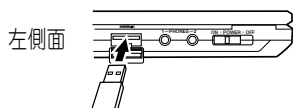
◆ **ディスクを再生するとき**

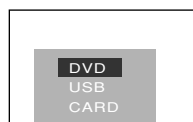
電源を入れ、ディスクをセットする。
（17ページ参照）

◆ **メモリーカードを再生するとき**

● 電源を切る。
● メモリーカードの端子面が下を向くようにしながら、メモリーカードをメモリーカードスロットに入れる。

● 電源を入れる。
※メモリーカードを抜き差しするときは必ず電源を切ってください。

◆ **USBメモリーを再生するとき**

● USB端子のカバーを開け、USBメモリーを接続する。

再生するメディアを選択する

1. USB/カードボタンを押す

● DVD/USB/CARD 選択画面が表示されます。
● 約3秒間操作しないと元の画面に戻ります。

2. 上下方向ボタン(▲/▼)を押してメディアを選び、再生(►)(ENTER)ボタンを押す

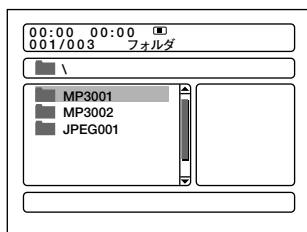
本機は次のメモリーカードを再生できます。

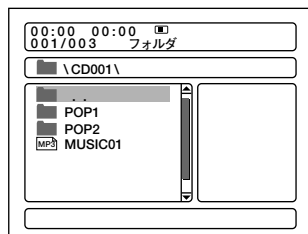
MMC、SDメモリーカード、メモリースティック

※ 上記のメモリーカードでもメモリー容量や、製造メーカーなどによっては本機で再生できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

1. メディアを選択する。（38ページ）

メディアの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。

2. 下方向（↓）ボタンを押して開きたいフォルダを選び、再生（▶）ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。
目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。
一番上にある「..」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。

3. 再生するファイルを選び、再生（▶）ボタンを押す。

再生が始まります。

いろいろな再生

再生モードを切り換える。

ファイルのみを一覧表示させることができます。

停止中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、ファイルリストモードとノーマルモードが切り換わります。

再生モード

ファイルリストモード表示

再生（▶）ボタンを押すと再生が始まります。
異なった形式のファイルが混在している場合は、選んだファイル形式と異なったファイルの前まで再生して停止します。

順不同に再生する。（MP3/DivX）

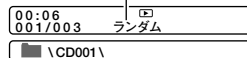
シャッフル/ランダム再生ができます。（23ページ）

再生中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、シャッフル、ランダム、フォルダ（通常再生）が切り換わります。

再生モード

シャッフル/ランダム/フォルダ

00:06
001/003 ランダム
\CD001\

リピート再生（繰り返し）

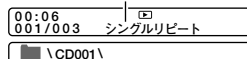
ファイルを選んでリピートボタンを押す。

押すごとに、シングルリピート、フォルダR、フォルダ（通常再生）が切り換わります。

シングルリピート：ファイルを繰り返します。
フォルダR（フォルダリピート）：フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

リピート

リピートモード表示

00:06
001/003 シングルリピート
\CD001\

スキップ再生（飛び越し）

再生中にスキップ（|◀◀/▶▶|）ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。
再生中のフォルダを越えてスキップすることはできません。

JPEGファイルのいろいろな再生

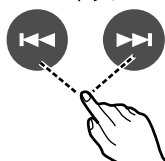
JPEGファイルの再生中にボタンを押すことにより、様々な機能を楽しむことができます。
ファイルサイズによっては画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

前後の画像にスキップする

ボタンを押して前後の画像にスキップします。

画像表示中にスキップボタンを押す

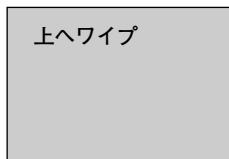
前の画像へ　　次の画像へ

スキップ

- ◆ シングルリピート再生中は機能しません。
- ◆ ファイルサイズによっては画像が表示されるまで時間がかかることが、あります。

スライドショーの切換効果を選ぶ

スライドショーで画像が切り換わるときの特殊効果を選ぶことができます。例えば、上から下、左から右へスライド(ワイプ)させたりすることができます。
本機は15種類の切換効果を選ぶことができます。

画像表示中に再生モードボタンを押す

押すごとに切換効果が変わります。

サムネールモードで選ぶ

画像を9ファイルずつ縮小表示させることができます。

1. 画像表示中に停止(■)ボタンを押す

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)で再生したい画像を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

次の9ファイル分を表示するには「次へ」を選択します。
選んだファイルから再生が始まります。

ボタン機能を表示する

各ボタンの機能説明を表示します。

1. 画像表示中に停止(■)ボタンを押す

画像が9ファイルずつ縮小表示されます。

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)を押し「メニュー」を選ぶ

各ボタンの機能説明が表示されます。

画像を反転表示する

画像を上下に反転させたり、左右に反転(ミラー)させることができます。

画像表示中に上方向(↑)ボタン、または下方向(↓)ボタンを押す

上下が反転

左右が反転

ボタンを押すごとに反転を繰り返します。

画像を回転表示する

画像を90度ずつ左回りに回転させたり、右回りに回転させることができます。

画像表示中に左方向(←)ボタン、または右方向(→)ボタンを押す

左回りに回転　　右回りに回転

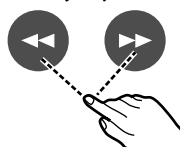
押すごとに画像が90度ずつ回転します。

画像を拡大、縮小する

画像を拡大したり、縮小したりすることができます。

1. 画像表示中にズームボタンを押す

画面左上にズームマークが表示されます。

2. サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

▶▶ ：押すごとに3段階に拡大します。
◀◀ ：押すごとに2段階に縮小します。

元のサイズに戻すときはズームボタンを押します。

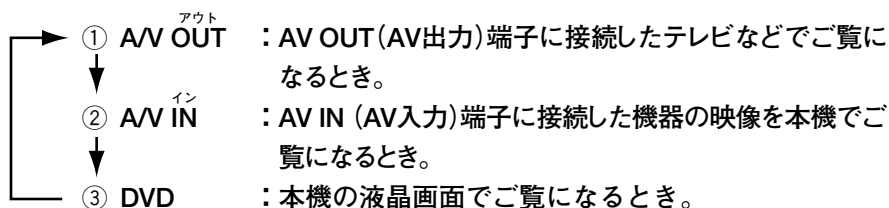
拡大した画像を上下左右に移動する

1. 画像を拡大する

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)を押して上下左右に移動する

本機を外部機器と接続するとき(SOURCE(ソース)ボタンの使いかた)

外部機器と接続する場合は、本体のSOURCEボタンを押して設定を切り換えてください。ボタンを押すごとに、次の様に切り換わります。

① A/V OUT(アウト)：AV OUT(AV出力)端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。
↓
② A/V IN(イン)：AV IN (AV入力)端子に接続した機器の映像を本機でご覧になるとき。
↓
③ DVD：本機の液晶画面でご覧になるとき。
(③から①に戻る)

AVケーブルで外部のテレビなどに接続してある場合、そのままでは外部のテレビで正常に表示することができません。SOURCEボタンを切り換えると正常に表示することができます。

※ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になることがありますが、これは故障ではありません。

※ ①は外部のテレビなどに映像を出力するとき、②は外部のビデオカメラなどから映像を入力するときに選択します。

液晶画面を調節する

液晶画面の明るさや、彩度、表示サイズを変更することができます。

画面の明るさを調節する

1. 再生中または停止中に本体のMONITOR(モニター)ボタンを押す。

押すごとに次の様に切り換わります。

→ ① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

明るさ調節画面

☼ 16

2. 明るさ調節画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で調節する。

画面の彩度を調節する

1. 再生中または停止中に本体のMONITORボタンを押す。

押すごとに次の様に切り換わります。

→ ① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

彩度調節画面

16

2. 彩度調節画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で調節する。

画面の表示モードを切り換える

1. 再生中または停止中に本体のMONITORボタンを押す。

押すごとに次の様に切り換わります。

→ ① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

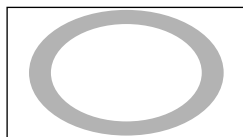
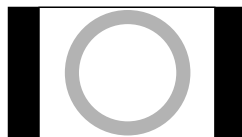
表示モード切換画面

全画面モード

標準モード

2. 表示モード切換画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で切り換える。

押すごとに次の様に切り換わります。

① 全画面モード

② 標準モード

故障と思われる症状ですが...

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症　状	対　応
音が出ない。	・本機の接続が確実か点検してください。 ・ヘッドホン使用時には、ヘッドホンのボリュームを最小に設定していないか点検してください。 ・テレビやアンプの操作が適正か確かめてください。
画像が出ない。	・本機の接続が確実か点検してください。 ・テレビの操作が適正か確かめてください。 ・カラーシステムの設定が適正か確かめてください。 ・ビデオ付テレビやビデオデッキに接続して楽しむ場合は、コピーガードが働いて正しく表示することができません。直接テレビに接続してお楽しみください。
音質が悪い。	・オーディオ出力の設定が適正か確かめてください。 ・本機とアンプ間のオーディオ接続が適正か確かめてください。
ディスクが再生できない。	・本機にディスクが入っていますか。 ・ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイに正しく載せてください。 ・ディスクを掃除してください。 ・本機内に結露が無いか確かめてください。ディスクを取り外し、本機を約1時間ONにしておいてください。
リモコンが作動しない。	・リモコンと本機間の障害物を取り除いてください。 ・リモコンを本機の受光部に向けてください。 ・電池を新しいものと交換してください。
画像が流れ、映像が出ない	・本機の設定がTVと合っていないおそれがあります。初期設定の「TVタイプ」(32ページ)でお使いのテレビに合わせてください。

著作権について

- ◆ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ◆ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ◆ 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ ドルビー、Dolby、ドルビープロロジックおよびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- ◆ DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- ◆ DivXは、DivXNetworks, Inc.の登録商標です。
- ◆ DVDロゴは商標です。
- ◆ メモリースティック、Memory Stick、および はソニー株式会社の登録商標です。
- ◆ SDメモリーカードはSD Associationの登録商標です。
- ◆ MMCはドイツInfineon Technologies AG社の登録商標です。

技術仕様

レーザー		波長650nm
ビデオシステム		PAL/MULTI/NTSC
周波数応答		20Hz～20KHz±1dB
SN比		95dB以上
オーディオ歪み十ノイズ		—80（1KHz）以下
チャンネルセパレーション		85dB以上
ダイナミックレンジ		85dB以上
出力	オーディオ出力（アナログオーディオ）	出力レベル:2V±10% 負荷インピーダンス:10kΩ
	オーディオ出力（デジタルオーディオ）	出力レベル: 0.5 Vp-p
	ビデオ出力	出力レベル:1Vp-p±20% 負荷インピーダンス:75Ω、不均衡、非極性
電源		DC9V 2.2A
許容動作温度		5～35℃
消費電力		20W以下
寸法		260×203×30 mm
重量		約 1.2 kg（バッテリーパックを除く）

付属充電バッテリパックの使用時間の目安。

DVD再生時、液晶表示 ON	約 2.5時間
DVD再生時、液晶表示 OFF	約 4時間

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際は、金属端子部にセロハンテープなどを貼って絶縁してください。
バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページ（http://www.jbrc.com）を参照してください。